

# 資料編

## 1 「広報ながいずみ」の環境関連記事(平成 30 年度)

注) レイアウトの関係で発行年月の順番が前後する場合があります

公共下水道への接続に  
ご協力をお願いします

町の下水道接続率は年々上がっていますが、一部ではまだ接続されていない家屋もあります。

下水道へ接続することで、側溝や水路の臭気が解消され、河川などの環境保全にもつながりますので、接続にご協力をお願いします。

なお、下水道の接続工事は町排水設備指定工事店が行うことになっています。町ホームページまたは上下水道課で確認できますので、お問い合わせください。

問 上下水道課 ☎ 989-5524

小型家電品の分別方法が  
変更になりました

これまで、金属の割合が多いファンヒーターなどは「資源物の金属類」で回収していましたが、小型家電対象品目が拡大されたため、電源コードがついている家電品については、全て「燃やせないごみの小型家電」で排出してください。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

問 焼却場 ☎ 986-8393

【2018.4.1号】

【2018.4.1号】

新・省エネルギーシステム  
設置者に補助金を交付します

町では、地球環境に配慮した社会づくりをするため、太陽光発電システムや家庭用燃料電池コージェネレーション(エネファーム)などの住宅用新・省エネルギーシステムを設置する方や蛍光灯を高効率照明器具(LED)に付け替える方に補助金を交付しています。

■補助対象機器

- ① 太陽光発電システム
- ② 太陽熱高度利用システム
- ③ 家庭用燃料電池コージェネレーション(エネファーム)
- ④ 高効率照明器具(LED)

※補助対象機器には詳細な条件があります。

補助額／

- ①・③：10万円
- ②：2万5000円
- ④：購入総額2万円以上で、購入金額の2分の1以内(上限2万円)

【2018.4.1号】

■補助を受けるには  
対象／

町内在住で、自ら所有する住宅に補助対象機器を設置した方(同一の補助対象機器に対して1住宅1回のみ)

※①～③は戸建住宅に限り、④は既存住宅への付け替えのみが対象です。

※町税などの未納がないことが条件です。

申請期限／①・②のうちどちらか早い日まで

- ① 補助対象機器を設置した日または代金支払い後30日以内
- ② 設置完了日の属する年度の3月10日

※申請に必要な書類など、詳細はお問い合わせください。

問 ぐらし環境課 ☎ 989-5514

## おいしさ詰まった寿太郎みかん 町内小学校に贈呈

2月19日(月)、子どもたちに食農の大切さについて理解してもらうことを目的に、JAなんすんから町教育委員会へ「寿太郎みかん」が贈呈されました。

贈呈された約2900人分のみかんは、2月26日(月)に町内各小学校の給食として提供され、児童たちは美味しそうにみかんを味わいました。



【2018.4.1号】

## 長 泉町協働によるまちづくり 推進事業 成果発表会

3月25日(日)、コミュニティながいずみで「長泉町協働によるまちづくり推進事業」成果発表会が開催され、同事業の補助金交付を受けた町内8団体が参加しました。

発表会では各団体の活動内容や次年度への取り組みなどについて情報交換が行われたほか、課題解決についての意見も交わされました。



【2018.5.1号】

## ごみ減量大作戦!!

### ごみ質調査について

#### ■調査の目的

ごみ質調査は、ごみ処理計画を立てる上でとても重要なものです。町では年に数回調査を行っており、家庭から排出されたごみを紙類、ビニール、木材、野菜などのくず、その他に細かく分類し、分別が適切に行われているか、ごみの減量・リサイクルを進めるためには何を改善すれば良いかなどを調べています。

#### ■平成29年度の調査結果

調査の結果、野菜などの食料が調理されずにそのまま廃棄されていることが多いということが分かりました。悪臭やカラスの飛来を防ぐため、生ごみの減量にご協力ください。長期保存ができる食品については、フードバンク制度などを利用しましょう。

※フードバンクとは、長期保存ができる食品を食べ物に困っている人や施設などに届ける活動です。

【2018.4.15号】

## ごみ減量大作戦!!

### プラスチックごみの分別

#### ■なぜ、プラスチックごみは2つに分けるの？

プラスチックごみには、「プラスチック製容器包装」と「その他プラスチック」があります。プラスチック製容器包装は容器包装リサイクル協会を通して適切に処理されます。一方、その他プラスチック類は粉碎し、フレーク状にしたものをプラスチックの原材料としてリサイクルします。毎週水曜日のプラスチックごみがごみカレンダーで2種類に分かれているのは、このためです。

#### ■異物の混入に注意！

2種類のプラスチックごみは、収集時には一緒に収集されますが、その後手作業で選別するため、袋を分けて排出してもらっています。プラスチックごみは、原材料として再利用されるため、異物が混入しないよう十分注意してください。ご理解ご協力をお願いします。

【2018.5.15号】

## 緑のカーテンの苗を配布します

町では、緑のカーテンを設置することにより節電効果を高めて地球温暖化防止などを図るため、ゴーヤの苗を無料配布します。

とき／5月16日(水)

午前10時30分～午後3時

※正午～午後1時は配布しません。

※苗がなくなり次第終了します。

ところ／ウエルピアながいずみ

(雨天時はベルフォーレで配布)

対象／

町内在住の方、町内の事業所

配布数／

18000苗(先着6000人)

(1世帯・事業所あたり3苗)

問 くらし環境課

☎989-5514

## ごみの野焼きはやめましょう

家庭でのごみ焼却は、煙や悪臭が発生し、周辺に迷惑がかかります。また、付近の枯れ草や建物などへの延焼の危険性もあり、火災の原因のひとつにもなっています。

ごみは、分別して町の収集に出しましょう。皆さんのご協力をお願いします。

問 くらし環境課 ☎989-5514

【2018.6.1号】

【2018.5.1号】

## 生ごみ処理機等設置費補助制度をご利用ください

町では、生ごみ処理機や生ごみ堆肥化容器(コンポスト)の購入補助を行っています。

対象／町内在住または町内に事業所を有する方

補助額／購入費の2分の1以内

(100円未満切り捨て)

■生ごみ処理機(機械式)

上限額／3万円

※1世帯または1事業所につき1

基までで、6年以上使用すること

が補助条件です。

※排水機能のあるものは、対象になりません。

■生ごみ堆肥化容器(コンポスト)

上限額／4000円

※1世帯または1事業所につき2

基までで、3年以上使用すること

が補助条件です。

申請場所／くらし環境課

※補助金の申請は、購入日から30

日以内および購入年度の3月10

日までに行ってください。

問 くらし環境課

☎989-5514

【2018.6.1号】

## 第1回 桃沢地域の公共交通のあり方に関する検討会開催

5月13日(日)、「城山～桃沢郷」区間の路線バスが今年度をもって廃止となるため、代替交通の早期確保にむけた検討会が元長窪公会堂で開催されました。

今後も、地域の住民、事業者、行政の三者で連携して協議を進め、地域の実情に応じた、継続性のある代替交通の検討を行っていきます。



【2018.6.1号】



## 地球に優しい緑のカーテン ゴーヤの苗を無料配布

町では、緑のカーテンを設置することによる節電を呼びかけるため、町内在住の方や町内の事業所に無料でゴーヤの苗を配布しています。

今年も5月16日(水)にニコニコ広場(健康公園内)で2000苗を配布しました。苗を受け取った方は、「地球に優しい上に収穫も楽しめるのが魅力。大事に育てます」と話しました。

【2018.6.1号】



# 伊豆半島 ユネスコ世界ジオパークが誕生 ―地域の活動、地質価値に高い評価―

ユネスコ（国連教育科学文化機関）は4月17日（火）、ユネスコ世界ジオパークに伊豆半島ジオパークを含む13地域を新たに認定しました。地質遺産の国際的価値と長泉町を含む伊豆半島15市町民の活動が高く評価された結果です。

## 15市町一丸で取り組んだ結果

世界認定の一報は、4月17日（火）の夕方に届きました。伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」でその瞬間を待っていたジオガイドや関係者からは歓声が上がリ、中には涙ぐむ方もいました。

18日（水）に行われた記念式典で、川勝知事は「伊豆半島の15市町が一丸となって取り組んだ結果、地球の宝物として正式に認められた」と述べ、喜びを表しました。また、伊豆半島ジオパーク推進協議会会長を務める菊地伊豆市長は「伊豆半島が世界レベルのリゾート半島として発展するようにしたい」と決意を語りました。

## ジオパークとは？

ジオパークとは、国際的に地質学的価値のある場所や景観が「保全・教育・持続可能な開発」が一体となった考え方により管理された、一筆書きで描ける地理的エリアを指します。

ジオパークでは、地球資源の持続的利用や気候・自然災害の影響軽減など、社会が直面する課題への意識を高めるため、地域のあらゆる自然・文化遺産と関連づけて、地質遺産を活用することが重要です。また、地域の地質遺産の重要性を知らせることで、住民一人一人に自分たちの地域に対する誇りが生まれ、一体感を強めます。

## ユネスコ世界ジオパークとは？

世界ジオパークとは、ユネスコの定める基準に基づいて認定されたジオパークです。

ユネスコ世界ジオパークは、国内では9地域目ですが、2015年に世界ジオパークがユネスコのプログラムとなってからは、国内初の認定です。

## ジオパークに期待されること

地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムを新たな収入源の一つとし、ジオパークの理念を活用した革新的な地元企業や新しい雇用、質の高い研修コースの開発などが期待されます。



【2018.6.1号】

### 充電電池をごみに出す場合は ご注意ください

町では、小型家電などに使用されている充電電池を処分する場合、販売店への返却をお願いしていますが、町の収集（ペットボトル・有害ごみ）に出す場合は、電極に絶縁のため、ビニールテープを貼って、乾電池の容器に入れて排出するようお願いします。



※絶縁しないと電極がこすれ発火する危険があります。また、店舗や事務所で使用されていた充電電池は産業廃棄物として処分して、町のごみ集積所には出さないでください。皆さんのご理解ご協力をお願いします。

問 焼却場 ☎ 986-8393

【2018.6.1号】

### 有害鳥獣捕獲を 実施しています

シカ、サルなどによる農作物などへの被害が発生しているため、銃器および「わな」を使用した有害鳥獣捕獲を実施しています。

捕獲の際には、安全を確認しながら行いますが、捕獲期間中に山林地域に立ち入りする際は、十分ご注意ください。

**捕獲地域**／町内全域（銃器は山間部のみで使用します）

**捕獲期間**／平成31年3月までの、

原則土・日曜日、祝日

**捕獲方法**／銃器、わな

※7月～9月は、原則「わな」のみの捕獲を行います。詳細はお問い合わせください。

問 産業振興課 ☎ 989-5516

【2018.6.1号】

### 自然豊かな桃沢地区で サイクリングを楽しみませんか

桃沢野外活

動センターでは、桃沢地区の自然と触れ合いながら健康的にサイクリングを楽しめるよう、電動アシスト機能付きマウンテンバイク（リッジランナー）のレンタル事業を開始しました。ぜひ、ご利用ください。



**貸出時間**／午前9時～午後4時  
（受付終了は午後3時）

**貸出場所**／桃沢野外活動センター

**貸出料金**（1人1台）／  
2000円

※保険料、ヘルメット・プロテクターの貸し出し料金を含みます。詳細はお問い合わせください。

問 桃沢野外活動センター  
☎ 987-5100

【2018.6.15号】

## ごみ減量大作戦!!

### 使用済み注射針の引き取りについて

糖尿病の治療などに使用される医療用注射針は、感染性廃棄物として使用者の責任で処理をすることになっています。「うさぎ薬局長泉支店（南一色セントラル内科敷地内）」では、家庭で使用した注射針の引き取りを無料で行っています。使用済み注射針をお持ちの方はご利用ください。

※他店扱いの注射針も引き取り可能です。

※町のごみステーションには出さないでください。

必ず指定された方法による処理をお願いします。

**引取場所**／うさぎ薬局 長泉支店

（南一色283-1）

**引取可能時間**／

月～金曜日

9:00～18:00

土曜日

9:00～13:00

**問** うさぎ薬局長泉支店

☎980-6820



【2018.6.15号】

### 野鳥の捕獲・飼育は 禁止されています

免許や許可のない野鳥の捕獲や違法に捕獲した野鳥の飼育や譲り渡し、譲り受け、販売などを行うと、鳥獣保護管理法違反となる可能性があります。

また、野鳥は飼育下に置かれるとその後の放鳥が困難になってしまう場合もあります。皆さんのご理解ご協力をお願いします。

**問** 産業振興課 ☎989-5516

【2018.7.1号】

### ごみステーションに排出された 資源物の持ち去りは犯罪です

ごみステーションに排出された資源物は、町の財産（有価物）であり大切な資源です。

資源物（空缶、新聞紙、小型家電、衣類、本など）を持ち去り、リサイクルショップなどで換金する行為や組織的な持ち去りは、遺失物等横領罪または窃盗罪などの犯罪行為に当たります。そのような行為を見かけた場合は、車両のナンバーや車体の色などの特徴を裾野警察署に通報してください。皆さんのご理解ご協力をお願いします。

**問** 裾野警察署 ☎989-5514

☎995-0110

【2018.7.1号】

## 「高木美保氏の環境講演in長泉」地球温暖化に 対して私たちができることは」を開催します

数々の映画やドラマ、バラエティに出演し、現在は芸能活動のみならず、自然と共にある環境を求めて農業に取り組むなど、幅広い活動を展開しているタレント、高木美保さんを講師に迎え「地球温暖化に対して私たちができることは」をテーマとした講演を行います。

とき／9月15日(土)

午後1時30分～3時

ところ／ベルフォーレ

定員／800人(先着順)

参加費／無料

※入場整理券が必要です。

応募期間／9月2日(日)必着

応募方法／

■ハガキによる申し込み

表 面／〒422-8525

テレビ静岡事業部「高木美保氏の  
環境講演in長泉」

裏 面／①郵便番号、②住所、③

氏名、④年齢、⑤電話番号

⑥参加人数を記入 ※代表者は

全て明記してください。

※1件の応募につき5人まで応募

できます。

(代表者以外の方は氏名・年齢  
を明記してください。)

■FAXによる申し込み

ハガキによる申し込みと同様内

容を明記

テレビ静岡事業部

☎054-265-1531

■インターネットによる申し込み

テレビ静岡のホームページ内の

申込フォームから申し込む

(<http://www.sutv.com/event/>)

応募上の注意／

同一人物による重複申し込みは

無効となります。

※当選者においては先着順にて随

時、入場整理券を発送し、発表

に代えさせていただきます。

入場整理券は9月9日(日)までに

送付します。



問 テレビ静岡事業部

☎054-261-7011

くらし環境課 ☎989-5514

【2018.7.1号】

## スズメバチの巣の駆除に 補助金を交付しています

皆さんの生活の安全確保を図るため、スズメバチの巣を町の指定する業者に依頼して駆除した方に、補助金を交付しています。

補助対象者／

左記の①②をどちらも満たす方

①町内に居住している方、または、

土地を所有もしくは賃貸してい

る個人

②町内にできたスズメバチの巣の

駆除を町指定業者に依頼して行

う方

※ミツバチ、アシナガバチなどス

ズメバチ以外のハチの巣は対象

にはなりません。

※町指定業者はお問い合わせください。

補助限度額／

駆除した巣1個につき8000円

申請期限／町指定業者に巣の駆除

費用を支払った日から30日以内

申請方法／

次の書類をくらし環境課に提出

・申請書

・駆除費用の領収書

・巣を駆除した前後の写真

・駆除した場所を示す図

・請求書

・振込先の金融機関名、支店名、口

座番号、名義人が確認できる通

帳のコピー(ゆうちょ銀行以外)

※申請書、請求書の様式は、くらし

環境課で配布しているほか、町

ホームページからもダウンロード

できます。

問 くらし環境課

☎989-5514



スズメバチは攻撃性が強く、  
自分で駆除するのは危険で  
す。発見したときは近寄ら  
ず、町指定業者に駆除を依  
頼してください。

【2018.7.1号】

## 浄化槽の保守点検・清掃・法定検査を 実施してください

浄化槽を設置している方は、浄化槽管理者となり、保守点検、清掃、法定検査の3つが義務付けられています。忘れずに実施をお願いします。

浄化槽とは、皆さんのご家庭の排水をきれいにする装置です。

浄化槽が適切に機能しないと、河川の水質を汚染させ、快適な生活環境を保てなくなってしまうです。

河川の水質を守るため、浄化槽の保守点検・清掃・法定検査を必ず実施してください。

### ■保守点検（年3～4回以上）

県の登録を受けた保守点検業者が、浄化槽の点検や付帯設備（モーターなど）の調整、消毒剤の補充など、浄化槽を正常に機能させるための作業を行います。

4カ月に1回以上行う必要があります。

問 東部健康福祉センター  
生活環境課 ☎ 920-2135

### ■清掃（年1回以上）

町の許可を受けた清掃業者が、浄化槽内にたまった汚泥などを引き抜き浄化槽内の清掃を行い、内部の状況が正常かどうかを確認します。通常の使用状況においては、年1回以上行う必要があります。

※全ばつ気方式は、半年に1回以上の清掃が必要です。

問 長泉環境㈱ ☎ 999-7087

### ■法定検査（年1回）

県の指定を受けた指定検査機関（静岡県生活科学検査センター）による検査を受けてください。浄化槽の設置工事やその後の保守点検・清掃が適正に行われ、きれいな水が放流されているかを外観検査や水質検査、書類検査により調査します。

問 生活科学検査センター  
☎ 054-621-5030

【2018.7.1号】

## ごみ減量大作戦!!

PCBの処理にご注意ください!

### ■PCB（ポリ塩化ビフェニル）の危険性

PCBは油状の化学物質です。以前は変圧器や安定器（コンデンサ）など、古い工場やビルの中で使用されていましたが、毒性が指摘され、製造が中止されました。一般家庭での使用はほとんどないと考えられますが、「昔は工場をやっていた」、「古い倉庫を何年も放置している」という方は特に注意が必要です。

### ■PCBが含まれている機器の確認方法

機器の製造年月日やメーカーを確認した上でメーカーに直接問い合わせるか、メーカーがわからない場合は環境省などのホームページを確認してください。PCBは極めて有害な物質であるため、町の施設では処理ができません。また、処理期間も定められており、県内では平成35年3月31日までに処理しなければいけないことになっています。所有している方は、県に届け出た後、適切な処理をしてください。

【2018.7.15号】

「夏の自然体験教室」  
参加者を募集します

野外活動を通じて、学区や学年の枠を越えた友達づくりをしてみませんか。

とき／

8月18日(土)～19日(日)(1泊2日)

ところ／桃沢野外活動センター

内容／

川遊び、キャンプファイヤー、

野外炊事など

対象／町内在住の小学4～6年生

定員／30人(先着順)

申込期限／7月29日(日)

申込方法／窓口で直接、または電話で申し込む

問 桃沢野外活動センター

☎ 987-51100

【2018.7.15号】

水と緑の杜公園  
「★ワンデーチャレンジ2018」  
参加者を募集します

スタンプリーを行いながら、スイカ割りやおもち作りなどで遊ぶイベントです。公園内の川で魚のつかみ取りをした後は、会場内で焼いて食べることが出来ます。ぜひ、ご応募ください。

とき／9月1日(土)(小雨決行)

午前9時30分～午後3時

ところ／水と緑の杜公園

定員／200人(定員を超えた場合は抽選)

参加費(1人)／600円

(体験料・保険料を含む)

※当日ご用意ください。

※ながいずみ観光交流協会会員は500円です。

申込期限／8月10日(金)(必着)

申込方法／往復ハガキに参加希望者全員の①住所、②氏名(ふりがな)、③年齢、④代表者の氏名・電話番号を記入して送付

※1枚につき6人まで申し込みができます。なお、重複して応募はできません。後日、代表者に当選通知を送付します。

問 ながいずみ観光交流協会

☎ 988-8780

〒411-0943

下土狩1283-11

【2018.7.15号】

「お宅の省エネ診断」を  
してみませんか

環境省公認の家庭の省エネのプロ「うちエコ診断士」が、無料でお宅の省エネ診断を行います。

専用の診断ソフトで家庭の光熱費の無駄を分析し、省エネ・節約のポイントを分かりやすくアドバイスします。ぜひご利用ください。

対象／町内の一般家庭(20世帯)

※エコ診断は自宅への訪問、公民館・役場の会議室などでも行えますのでご相談ください。また、グループでの診断も対応します。

診断時間／30～45分程度

申込期限／12月21日(金)

問 県地球温暖化防止活動推進センター

☎ 054-271-8806

【2018.7.15号】

## ごみ減量大作戦!!

ペットボトルを適切にリサイクルするために

### ■排出されたペットボトルはどこへ行くの？

町で集められたペットボトルは、有価物として町が契約するリサイクル工場へと引き渡されます。

引き渡しには品質検査で（公社）容器包装リサイクル協会の基準を満たす必要があり、長泉町は、この検査で毎回合格の認定を受けています。これは、皆さんが日頃から適切に分別をしているおかげです。

### ■ペットボトル排出時の注意

検査では合格しましたが、その一方で2点指摘を受けました。

①ラベルをはがしていないもの

②キャップがついたままのもの

が多かったことです。ラベルとキャップは、毎週水曜日のプラスチックごみの分別で排出することができます。ペットボトルは、ラベルとキャップをはずした状態で排出してください。

【2018.8.15号】

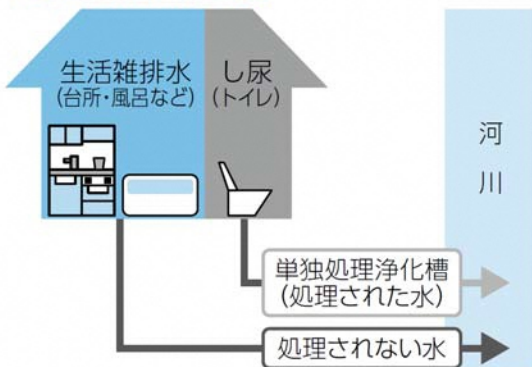
## ごみの野焼きはやめましょう

家庭でのごみ焼却は、煙や悪臭が発生し、周辺にも迷惑がかかります。また、付近の枯れ草や建物などへの延焼の危険性もあり火災の原因の一つにもなっています。ごみは、分別して町の収集に出しましょう。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

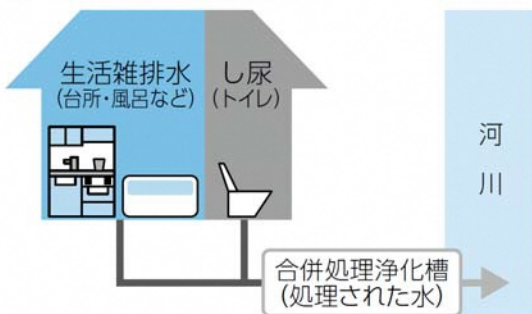
問 くらし環境課 ☎ 989-5514

【2018.8.15号】

### 【単独処理浄化槽の場合】



### 【合併処理浄化槽の場合】



対象／公共下水道計画決定区域  
外の既存の単独処理浄化槽または汲み取り便槽を合併処理浄化槽に入れ替える方  
※新築、増改築を伴う場合は、対象外です。

### 補助限度額／

・5人槽 41万4000円

・6～7人槽 51万6000円

・8～10人槽 68万4000円

※公共下水道計画区域の確認や補助条件など、詳細は、お問い合わせください。

問 くらし環境課 ☎ 989-5514

## 単独処理浄化槽などから合併処理浄化槽への入れ替えに補助金を交付しています

町では、生活排水による河川などの水質汚染を防止し、生活環境の保全を図るため、し尿以外の生活排水も処理できる「合併処理浄化槽」への転換を進めており、単独処理浄化槽などから合併処理浄化槽に入れ替える方を対象に予算の範囲内で補助金を交付しています。

【2018.8.15号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

### ごみを出すときに気を付けること

燃やせるごみを捨てるときに使用できる袋は、町指定の半透明袋、高密度ポリエチレン使用表示の半透明袋となっていますが、プラスチックや燃やせないごみを排出するときには、レジ袋などを使用しても良いことになっています。レジ袋などでごみを排出する場合は、必ず中が透けて見えるものを使用してください。これは、ごみを回収する際に区分の異なるごみが混ざっていないか確認するためです。

中身が確認できない袋で排出されたごみや異常な重さがあるもの、振ったときに異様な音がするものなどは、回収されない場合がありますので、ご注意ください。



【2018.9.15号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

### 大型粗大ごみの排出が難しい高齢者の方へ

地震が起きたとき、大型家具が倒れてきたら…。高齢の方だけで暮らしている場合は、特に不安を感じると思います。町では「にここ収集」として70歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、使わなくなった大型家具類を回収しています。同一敷地内に子や孫が同居している場合、自家用車がある場合などは対象外のため、ご注意ください。また、高齢者施設へ入居する前のお手伝い、引っ越しのお手伝い、遺品整理のお手伝いも対象外です。

### 違法な回収業者にご注意ください!

軽トラックなどで巡回して粗大ごみなどを回収する業者は、違法性があり、トラブルになることもあります。町の許可業者は許可シールを車体に貼って巡回していますので、違法な業者を利用しないようご注意ください。

問 焼却場 ☎986-8393

【2018.10.15号】

燃やせるごみの正しい分別に  
協力をお願いします

最近、燃やせるごみの中に、スプレー缶や針金などの金属類が混入している事例が多く発生しています。燃やせるごみの中に金属類が混入していると、焼却炉に負担がかかり故障の原因になります。

また、スプレー缶などは炉内での爆発事故の原因にもなります。過去には、金属片の混入により、焼却炉が故障し、1週間以上、使用できないことがありました。

燃やせるごみを出す場合、金属類が混入しないようご注意ください。

問 焼却場 ☎986-8393

【2018.9.15号】

# ももタク始動！

桃沢地域限定、実証運行

デマンド乗合タクシー

10月1日から桃沢地域のデマンド乗合タクシー「ももタク」が実証運行を開始します。

対象／元長窪区、上長窪区、屋代住宅区、谷津区、下長窪区14・15・17班にお住まいの方

運行時間／平日午前6時台～午後7時台の毎時1便

※土・日曜日、祝・休日、年末年始（12月29日～1月3日）は運行しません。



今後の公共交通のために  
みんなで「つくる」「育てる」

公共交通は地域になくてはならない存在です。現在、自動車での移動をしている方も、将来は公共交通を利用しなければならない時が必ずきます。

「その時になったら利用する」では、今回平日便が廃止となってしまう「御長屋線」のように、公共交通を守っていくことはできません。

将来のため、今できることは皆さんが公共交通を利用することです。町も、地域の実情にあった「ちょうどいい」公共交通の確保に向け、今後も地域の皆さんと一緒に「つくる」「育てる」取り組みを進めていきますので、検討会など積極的にご参加ください。

そして、たまには、家族で公共交通を利用して出かけてみませんか？

長泉町  
会員登録制 デマンド乗合タクシー

ももタク

問 企画財政課 ☎ 989-5504

【2018.10.1号】



## 地域の足を確保 ももタク実証運行開始

10月1日(月)、桃沢地域限定デマンド乗合タクシー「ももタク」が実証運行を開始しました。これは、町内路線バス御長屋線（城山～桃沢郷区間）の平日便廃止に伴い、地域の足を確保するための代替交通として運行しています。

たくさんの地域の声が詰まった「ももタク」は、これから地域で利用しながら育てていきます。

【2018.11.1号】

## ごみ減量大作戦!!

### 引っ越しごみなどの処理について

ごみは発生した場所を含む自治体内で処理することが法律で決められています。以下の点に注意して処理してください。

■転出する場合…住所が長泉町にある間は、長泉町でごみを処理することができます。住所が他市町に移った以降は、住所のある自治体でごみ処理をしてください。

■転入する場合…粗大ごみなどは、転入前の自治体で処理してください。

■親戚や兄弟が他市町に居住している場合…ごみ処理を頼まれた場合は、親戚等が居住する自治体へ、ごみを持ち込んでください。

※自分で出したごみは自分で運ぶことが原則です。粗大ごみなど、自分で運ぶことができない場合は、収集運搬許可業者へごみの運搬を依頼（有料）してください。

※収集運搬許可業者については、焼却場（☎986-8393）へお問い合わせください。

【2018.11.15号】

## 住宅用新・省エネルギーシステム設置者に 補助金を交付します

町では、地球環境に配慮した社会を目指すため、住宅用新・省エネルギーシステムを設置する方や蛍光灯などを高効率照明器具（LED）に付け替える方に補助金を交付しています。

### ■補助対象機器

- ①太陽光発電システム
  - ②太陽熱高度利用システム
  - ③家庭用燃料電池コージェネレーション（エネファーム）
  - ④高効率照明器具（LED）
- ※補助対象機器には、それぞれ詳細な条件があります。

### 補助額／

- ①・③10万円
- ②2万5000円
- ④購入総額2万円以上で、購入金額の2分の1以内（上限2万円）

### ■補助を受けるには 対象／

町内在住で、町税などの滞納が無く、自ら所有し居住する住宅に補助対象機器を設置した方（同一の補助対象機器に対して1住宅1回のみ）

※①③は戸建住宅に限り、④は既存住宅での付け替えのみが対象です。

### 申請期限／

- 次のうちいずれか早い日
  - ・設置または代金支払い後、30日以内
  - ・設置完了日の属する年度の3月10日まで
- 申請方法／

申請書、必要書類をくらし環境課へ提出

※申請書は、くらし環境課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます。

※詳細はお問い合わせください。



問  
くらし環境課  
☎989-5514

【2018.11.15号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

平成29年度のごみ・資源物の量はどれくらい?

平成29年度は平成28年度に比べて、ごみ処理量が減少しました。町民や事業者の皆さん、日ごろからごみの分別や資源化にご協力いただきありがとうございます。

ごみ排出量の比較 (単位: トン)

ごみの種類	H28	H29	増減
燃やせるごみ	7,963	7,778	-185
埋立ごみ	412	416	+4
資源物	2,594	2,492	-102
合計	10,969	10,686	-283

適切に処理された紙類、衣類、鉄くず、生きびん、廃食用油などは売却し、年間約1200万円の収入になります。このお金は、ごみ処理費用の一部になりますので、紙類などの資源化にご協力をお願いします。

【2018.12.15号】



## 地域の環境美化に貢献 環境美化有功者表彰式

地域での清掃活動など、環境美化に貢献された個人や団体などが表彰を受けました。(敬称略)

【個人の部】梶正則(薄原下)、小野繁美(下長窪)

【団体の部】鮎壺区1班、元長窪桃沢クラブ、中土狩区東15班

【清掃の日優良区】新屋町上区、本宿区、荻素区、薄原下区、東べ南一色区、納米里区

【2019.1.1号】

## 農林商工業者の魅力が集結 長泉町産業祭開催

11月25日(日)、健康公園で長泉町の秋の一大イベント「第23回長泉町産業祭」が開催されました。

会場では、特産品PRプレゼント大会や品評会出品農産物の即売会、ご当地メンチカツサミット、優秀技能者の表彰、音楽サークルくいしんぼ〜んによるミニコンサート、町内の事業所による工業展などが行われ、多くの方が来場しました。



【2019.1.1号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

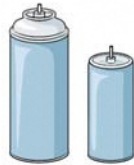
### スプレー缶の処理について

町のごみカレンダーに記載されているとおり、町ではスプレー缶の中身を使い切って、資源物の日に排出するようお願いしています。無理に穴を開ける必要はありません。

スプレー缶への穴あけは危険を伴うため、環境省でも2009年以降、スプレー缶の処理については「穴あけをしないことが望ましい」としています。

### 使い切りにご協力ください

スプレー缶の中身が残っていると、排出した後に「ごみステーションでの暴発」、「回収時の事故」、「焼却場資源化ラインでの事故」が起こる危険性が高くなります。中身を使い切ることができない場合には、焼却場に直接持ち込んでください。



【2019.1.15号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

### 「燃やせるごみ」、正しく分別できていますか？

町では、年に数回ごみステーションを巡回して、ごみ質調査を行っています。調査を行ったところ、近ごろ、「燃やせるごみ」の質がほかのごみに比べて分別が徹底されていないことが分かりました。焼却場に直接ごみを持ち込む方だけでなく、ごみステーションにごみを排出する方も、正しい分別をお願いします。

特に注意が必要なのは、カップラーメンなどの容器です。商品によって材質が異なるため、捨てる容器が紙かプラスチックか、必ず確認してから排出してください。

町が回収しないごみや、他の分別のごみを燃やせるごみに包んで排出しないよう、ご注意ください。ごみ収集時の事故や、焼却場の設備が壊れる原因になります。

【2019.2.15号】

問 上下水道課

☎ 989-5524

### 絶対に流さないでください



また、飲食店や食品製造の事業者の方は、グリーストラップ（食べ物など細かいごみや油などを流さないための設備）の利用などによる適切な排水を心がけてください。

下水道に流すことができないものは、トイレや風呂、台所などの汚水に限られます。異物などにより下水道施設が故障すると、正常な排水ができず、汚水が溢れ出す恐れがあります。紙おむつやタオル、水に溶けにくいティッシュなどは絶対に流さないでください。

下水道を適切に利用しましょう

【2019.2.1号】



## 南 駿農業協同組合畜産共進会 褒章授与式が行われました

2月4日(月)、JAなんすん長泉支店で「南駿農業協同組合畜産共進会褒章授与式」が開催され、優れた品質の畜産物の生産者が表彰されました。

名誉賞／渡邊光一さん（肉牛の部）

町長賞／加藤克己さん（肉牛の部）

農業委員長賞／加藤孝さん（酪農の部）

中核農業者協議会長賞／井出宗介さん（肉牛の部）

【2019.3.1号】

## 長 泉らしさを発信！ 長泉ブランド認定式

2月4日(月)、町内の魅力ある農畜産物や食品、製品などを選定した「長泉ブランド」の認定式がウェルピアながいずみで開催されました。

今年度は33品目が認定され、長泉ブランド認定委員会から認定品を有する事業者に認定証が手渡されました。

認定品の一覧は、14ページをご覧ください。



【2019.3.1号】

## ごみ減量大作戦!! みんなの意識で ごみを減らそう

### 「みんなのメダルプロジェクト」回収終了!

平成29年7月から始まった「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」は、3月31日で回収を終了します。役場、南部地区センター、ウェルピアながいずみなどで回収されたものや、「燃やせないごみ」の日に回収された小型家電品は、すべて金・銀・銅メダルの材料になりました。

一つの小型家電から採取される金属はごく微量ですが、全国から集まったリサイクル金属により、オリンピックのメダルを作るために必要な目標量が達成されました。長泉町の回収量と目標量のうち資源化された割合は以下のとおりです。ご協力いただきありがとうございました。町では、今後もリサイクルの推進を図っていきます。

	金	銀	銅
回収量 (kg)	0.004	0.252	132.3
目標量 (%)	0.013	0.006	4.9

【2019.3.15号】



# まちなか カイゼン

## Before & After Vol.3

竹原区



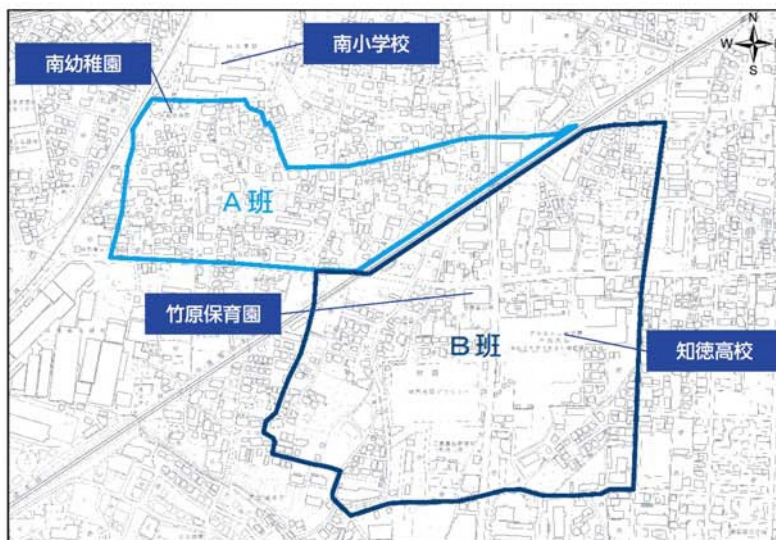
町では第4次長泉町総合計画後期基本計画の重点プロジェクトとして、安全で安心な住みよいまちづくりに取り組んでいます。  
その一環として、「まちなかカイゼン Before & After (生活空間満足度向上事業)」を実施しています。地域住民と町職員が道路などの危険箇所を確認し、その解決方法を検討して、それぞれの役割で地域の課題を解決していきます。本年度は、竹原区を重点地区に指定して取り組みました。  
来年度も、今回の実施内容を検証した上で、新たな地区で取り組んでいきます。

### 取り組みの流れ

- ① まち歩き  
昼間と夜間、地域住民と町職員が区域内を歩き、地域の課題を点検・確認します。
- ② ワークショップ  
確認した課題などの改善方法を検討し、地域住民と町などが取り組むべき内容を確認します。
- ③ まちをカイゼン  
地域住民と町などが一体となり、課題解決に向けた取り組みを行います。

### 区域の設定

区域周辺に幼稚園、保育園、小学校、高校があり、小・中学校の通学路があること。また、区域の一部がゾーン30に指定されていることから、この区域を対象に設定し、A班とB班に分けました。



【2019.3.1号】

## ①まち歩き

実施日／

平成30年7月7日(土) (昼間・夜間)

参加者が班ごとに分かれて区域内を歩き、現状を把握するとともに、写真撮影をしながら課題を「まち歩きチェックシート」に取りまとめました。

道路の安全性や、見通しの悪い交差点、消えかけている道路標示など、子どもや高齢者などの視点で調査しました。



## ②ワークショップ

実施日／7月14日(土) (昼間)

まち歩きで確認した課題に対して緊急度、実施時期、実施主体を中心に議論し、住民と町でそれぞれの役割を決めました。

・住民の役割／所有者に対する、カーブミラーを覆う樹木や倒壊の恐れがあるブロック塀撤去のお願いなど

・町の役割／グリーンベルトの新設、柵の設置、道路の舗装など



【2019.3.1号】

### ③ まちをカイゼン

※このほかにも、事業規模が大きな道路舗装工事など、複数年度にまたがって取り組む事業が複数箇所あります。

ビフォー



ガードレールに隙間があり、歩行者が転落する危険性がある。



倒壊の恐れがあるブロック塀がある。



樹木により、「止まれ」の標識が見えづらくなっている。

アフター



隙間に柵を設置して、安全性を確保しました。



ブロック塀を撤去しました。



樹木を剪定し、「止まれ」の標識が見えやすくなりました。

ビフォー



道路が劣化している。外側線とグリーンベルトが薄い。



見通しが悪く、対向車が見えない。



踏切内に外側線とグリーンベルトがない。

アフター



舗装をしました。また、外側線とグリーンベルトを引き直し、見えやすくなりました。



道路標示を引き、運転手への注意喚起をしました。



外側線とグリーンベルトを引き、歩行者の安全性を確保しました。

【2019.3.1号】

## 参加者インタビュー

今回の事業に参加した竹原区の区長と、道路・河川の維持管理業務に携わる町職員に、事業に参加した感想などについて話を伺いました。

―事業に取り組む前の気持ち、また、参加して感じたことは―

従来は各班から区長へ、区長から町へ申請することでカイゼンを図ってきましたし、それだけである程度問題は解決できていると思っていました。しかし、多くの区民と一緒に問題点を見つけようとまち歩きをした結果、これまで見逃してきた問題点がたくさん見つかり驚きました。

子を持つ親の目で見ると、普通の大人が気にしていなかった危険箇所まではっきり見えます。道路舗装のちょっとした不備などでも、大きな危険に繋がりがかねないということが良くわかりました。

また、昨年発生した大阪北部を震源とする地震からブロック塀の危険性が叫ばれていますが、竹原区にも多くのブロック塀が残っている状況です。こちらは引き続き対応が必要だと感じました。

―次の重点地区で生かすために必要なことは―

とにかく、なるべく大勢でまち歩きをすることです。大勢が参加することで、事業自体を知らない人も「これは何の活動ですか」と興味を持つ。違った視点が集まることで新たな発見に繋がりが、気にしたことのなかった問題点が見えてくるので、ぜひ積極的に参加してほしいと思います。

また、まち歩きの段階では本当にたくさんの方の意見があらわれます。ワークショップで話し合い、優先順位を確認することが大切だと感じました。



竹原区  
区長 高橋 敏明さん

―今回の事業で感じたことは―

町では定期的にパトロールを行い、住民が安心して暮らせるように常に心掛けていますが、今回さまざまな意見をいただき、これまで行き届かなかった部分も含め、改善点について改めて考える良い機会となりました。住民の皆さんと実際に会話をし優先度や改善方法を共に検討することができ、行政と住民が一体となった「まちなかカイゼン」に繋がったと思います。

―今後、仕事を進めていくうえで生かしていきたいことは―

今回のワークショップを通して、少しでも課題の解決に近付いたと思います。今後のまちづくりも皆さんの声を形にしていきたいです。また、何事においても一度住民の方と同じ目線で状況を把握し、安心して安全に生活できるまちづくりに努めていきたいと思っています。



工事管理課  
技師 加藤 裕樹

## 重点事業（中土狩区） その後の取り組み

昨年度、重点事業として取り組み、今年度に工事を実施した中土狩区の「カイゼン」内容を紹介します。

場所／中土狩第一公民館南側



ビフォー  
道路が劣化している。側溝がない。外側線が薄い。



アフター  
道路を舗装しました。また、側溝を新設し、外側線を引き直しました。

【2019.3.1号】

## 2 環境基本条例

(平成 22 年 3 月 24 日条例第 1 号)

(目的)

第 1 条 この条例は、環境の保全及び創造について、基本理念を定め、町、町民及び事業者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策(以下「環境施策」という。)の基本となる事項を定めることにより、環境施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の町民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 環境への負荷 人の活動により環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるものをいう。

(2) 地球環境の保全 人の活動による地球全体の温暖化又はオゾン層の破壊の進行、海洋の汚染、野生生物の種の減少その他の地球の全体又はその広範な部分の環境に影響を及ぼす事態に係る環境の保全であって、人類の福祉に貢献するとともに町民の健康で文化的な生活の確保に寄与するものをいう。

(3) 公害 環境の保全上の支障のうち、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤の沈下及び悪臭によって、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずることをいう。

(基本理念)

第 3 条 環境の保全及び創造は、町民が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに、良好で快適な環境が将来の世代に継承されるよう適切に行われなければならない。

2 環境の保全及び創造は、町、町民及び事業者が公平な役割分担の下に、自主的かつ積極的に行われなければならない。

3 環境の保全及び創造は、水と緑に象徴される自然環境に恵まれた本町の特性を踏まえつつ、環境への負荷を可能な限り減らすことにより、人と自然とが共生できる循環型社会が構築されるよう行われなければならない。

4 地球環境の保全は、人類共通の重要課題であり、町民の健康で安全かつ快適な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であるため、すべての事業活動及び日常活動において推進されなければならない。

(町の責務)

第 4 条 町は、基本理念にのっとり、環境の保全及び創造に関し、町域の自然的及び社会的条件に応じた総合的かつ計画的な環境施策を策定し、これを実施する責務を有する。

(町民の責務)

第 5 条 町民は、基本理念にのっとり、環境の保全及び創造に自ら積極的に努めるとともに、町が実施する環境施策に協力する責務を有する。

(事業者の責務)

第 6 条 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害の防止及び自然環境の適正な保全に必要な措置を講ずる責務を有する。

2 事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、これに伴う環境への負荷の低減その他環境の保全及び創造に自ら積極的に努めるとともに、町が実施する環境施策に協力する責務を有する。

(環境基本計画)

第 7 条 町長は、環境施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画(以下「環境基本計画」という。)を定めなければならない。

2 環境基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 総合的かつ長期的な環境施策の大綱

(2) 前号に掲げるもののほか、環境施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 町長は、環境基本計画を定めるに当たっては、あらかじめ、町民及び事業者の意見を反映するために必要な措置を講ずるとともに、第 15 条に規定する長泉町環境審議会の意見を聴かななければならない。

4 町長は、環境基本計画を定めたときは、速やかにこれを公表しなければならない。

5 前 2 項の規定は、環境基本計画の変更について準用する。

(規制等の措置)

第 8 条 町は、環境の保全上の支障を防止するために必要と認めるときは、関係行政機関と協議の上で、法令に基づき必要な規制又は指導の措置を講ずるものとする。

(公共施設の整備等の推進)

第 9 条 町は、環境の保全上の支障を防止するために、必要な公共施設の整備その他環境への負荷を低減する事業の推進に努めるものとする。

(環境への負荷の低減に資する施策の促進)

第 10 条 町は、環境への負荷の低減を図るため、町民及び事業者による廃棄物の減量、資源の循環的な利用及びエネルギーの合理的で効率的な利用が促進されるよう、必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(環境教育及び環境学習の推進)

第 11 条 町は、町民及び事業者が、環境の保全及び創造についての理解と関心が深められるように、環境教育及び環境学習を推進するよう努めるものとする。

(環境情報の提供)

第 12 条 町は、環境教育及び環境学習の推進並びに町民及び事業者が自発的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進に資するため、必要な情報を提供するよう努めるものとする。

(国及び他の地方公共団体との協力)

第 13 条 町は、環境の保全及び創造を推進するための広域的な取組が必要となる施策を実施するに当たっては、国及び他の地方公共団体と協力して行うよう努めるものとする。

(地球環境の保全の推進)

第 14 条 町は、国及び他の地方公共団体並びに町民及び事業者と連携し、地球環境の保全に関する国際協力の推進に努めるものとする。

(環境審議会)

第 15 条 環境基本法(平成 5 年法律第 91 号)第 44 条の規定に基づき、環境の保全及び創造に関して必要な事項を調査審議するため、長泉町環境審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、町長の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。

(1) 環境基本計画に関する事項

(2) 環境施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項

(委任)

第 16 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

### 3 環境報告書への意見書様式

#### 長泉町環境報告書についての意見書

平成 年 月 日

(宛先) 長泉町長

ふ り が な  
氏 名 :  
住 所 :  
電話番号 :

ページ番号	意見の内容